



2021年

12月

中国四国農政局  
高知県拠点

## こだわりの黒砂糖作りで地域を盛り上げる

黒潮町

黒潮町入野にある入野砂糖研究会では、所属する町内の24戸の農家でさとうきび「黒海道（くろかいどう）」を栽培し、11月中旬から12月下旬までの間、入野砂糖（黒砂糖）を製造しています。不純物をていねいに除去した黄金色に輝く黒砂糖作りをご紹介します。



(さとうきびの搾汁作業)

### 1. 入野砂糖(黒砂糖)の歴史

黒潮町の入野砂糖作りは江戸時代に始まり、昭和20年代後半頃まで続いていましたが、安価な白砂糖や輸入品などが広がり生産が一時途絶えたものの、昭和63年に地元の有志によって復活し「入野砂糖研究会」としてさとうきびの生産・加工に携わっています。現在、黒潮町では年間約50～70tのさとうきびを生産し、年間約5～6tを製糖しています。



(3番釜の炊き上げ作業)



(3番釜から汲み出される黒砂糖)

### 2. 製糖作業の流れ

11月中旬から刈り取ったさとうきびを、搾汁機で搾り、1番釜から3番釜で煮詰めて仕上げていきます。1番釜では不純物を取り除き、更に極小の不純物は微量の食用石灰で除去します。

その後、すまし桶に移し更に不純物を沈殿させ、上澄みを2番釜に移します。2番釜では温度を上げて炊き上げ、水分を飛ばします。最後の仕上げを行う3番釜では、攪拌してじっくりと煮詰めて糖度を上げます。焚き手職人の長年の経験により仕上がりのタイミングを計り、容器に流し込みます。その後、入れ手職人の手で攪拌しながら粗熱をとった後型枠へ入れていきます。

3番釜で仕上げの途中段階で取り出した液体（蜜）は、冷めても固まらず、地元では通称「ぼか」と呼ばれ、シロップとして販売されるほか、「ぼか」を活用した商品も開発・販売されています。

入野砂糖は、さっぱりとした甘みが特徴です。煮付け料理や鍋などに足すことによりまろやかな甘みが加わります。製品は、道の駅やネットなどで販売されています。

### 3. これからの展開

入野砂糖研究会には、県外から2組の移住者がおり、黒砂糖作りに意欲的に取り組んでいます。酒井会長は、安定収入を得られる農業者が一層増えることを期待し、今後は「製糖所に販売店を併設し、県外観光客が気軽に立ち寄れるよう案内板を設置して、地域を盛り上げていきたい」と力強く話されました。

(写真提供：黒潮町)



(入野砂糖(黒砂糖))



## 「ディスカバー農山漁村(むら)の宝」(全国優良事例)に吉延営農組合が選定されました

### 吉延営農組合



(吉延集落の棚田) (写真提供：本山町)

本山町の吉延営農組合は、平成19年に設立され、共同機械の整備や農作業受託、鳥獣被害防止対策など、集落内で農業が継続されることを目標に営農体制の確立に取り組んでいます。地域資源である棚田を活かした田んぼアートやコンサート、棚田散策ツアーの実施や棚田を見渡せる展望台や駐車場を整備するなど、交流人口の拡大や地域資源の磨き上げを行っており、集落になくてはならない組織となっています。

農林水産省のホームページ

「ディスカバー農山漁村(むら)の宝」第8回選定の詳細はこちら↓  
[https://www.maff.go.jp/j/press/nousin/kouryu/211119\\_4.html](https://www.maff.go.jp/j/press/nousin/kouryu/211119_4.html)



## 中国四国農政局「ディスカバー農山漁村(むら)の宝」(優良事例)に高知商業高等学校ジビエ商品開発・販売促進部が選定されました

### 高知商業高等学校ジビエ商品開発・販売促進部



(高校生ジビエ・レストラン出店)

(写真提供：高知商業高等学校)

高知市の高知商業高等学校に在籍するジビエ商品開発・販売促進部は、平成30年から活動を開始しています。森林率全国1位の高知県では、ニホンジカやイノシシなどの野生鳥獣被害が深刻な地域課題となっていることから、昨今のハンター不足と高齢化の現状、ジビエ利活用の可能性の話に興味を示した生徒たちが課題解決に向け、捕獲された個体をジビエとして商品化し、販売活動に取り組んでいます。

中国四国農政局のホームページ

中国四国農政局「ディスカバー農山漁村(むら)の宝」選定の詳細はこちら↓  
<https://www.maff.go.jp/chushi/press/shinko/211119.html>



## 令和3年度農林水産統計業務協力者等に対する感謝状を伝達

統計の重要性に対する国民の皆様の関心と理解を深め、統計調査に対する国民の皆様のより一層の御協力を頂くため、昭和48年7月3日の閣議了解により、毎年10月18日を「統計の日」と定められました。

農林水産省では、「統計の日」の記念行事として、農林水産統計調査に永年御協力を頂いた方に感謝状を授与しています。

今年、高知県内では、農林水産大臣感謝状が永年協力者5名と特別協力者1名の計6名に、また、中国四国農政局長感謝状が20名に授与されました。

香南市で水田農業を営む森下智裕さんは、農業経営統計調査に永年御協力いただいております。水稲及び飼料用米の今後の作付状況等について意見交換を行いました。



(森下智裕さん(右)と野田地方参事官(左))

◎「News Letter」は、原則奇数月に発行しています。

編集：中国四国農政局 高知県拠点

〒780-0870 高知市本町4丁目3-41 高知地方合同庁舎

TEL(088)875-7236(代) FAX(088)875-7531 <農政局HP> <https://www.maff.go.jp/chushi/>

◆ニュースレターに関するアンケートにご協力ください。 <https://www.contactus.maff.go.jp/j/chushi/form/nl180401.html>